

出展案内

国際医薬品開発展 2022

2022年4月20日(水)～22日(金)
東京ビッグサイト



3年ぶりに出展。CPhI 2022

2020年のパンデミック以来、対面式のイベントへから遠ざかっていましたが、2022年4月開催の本展示会に出展することが決定しました。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

出展概要

日程	2022年4月20日(水)～22日(金) 10:00 - 17:00
会場	東京ビッグサイト東ホール
展示ブース	2B-06
お申込み	展示会への入場には登録が必要です。 出展事務局ホームページにお進みください

国際医薬品開発展 2022

展示会ホームページはこちら
<https://www.cphijapan.com/>

3日間で6つのセミナー発表

本展示会では、製薬業界をリードするキーパーソンによる講演が多数開催されます。アジレントも、「バイオフィーマセミナー」や「プロセス化学・CMCセミナー」などで、6つのセミナー発表を予定しています。事前登録の必要なプログラムもございます。ぜひ事前にお申し込みの上ご来場ください。



ブースでお待ちしています ブース No. 2B-06

ブースでは、GC, GC/MS, LC, LC/MS、ラポインフォマティクス最新情報の他、データインテグリティ対応の紫外可視分光光度計、ラマンハンドヘルド分光光度計の実機、細胞解析ソリューションを展示。サステナビリティへの取り組み動画等、分析者にやさしい働き方への提案をしています。ニューノーマルなラボ運営についてお話しませんか？情報収集にぜひお立ち寄りください。



アジレントのセミナースケジュール

4月20日(水)	出展社セミナー (14:30-15:00) 「分光光度計も、ICP-MSも、LC/Q-TOFも、一緒にデータインテグリティ対応」
4月21日(木)	バイオフィーマセミナー (13:00-13:45) ※要予約 「汎用自動分注機 Bravo によるサンプル処理のご紹介 ～溶液の各種分注、磁気ビーズ精製、機能性カラムカートリッジを使用したプロテインサンプルの前処理～」 昨今、実験の様々なステージにおいて、各種操作の自動化・省力化が大きなテーマとなっている。実績ある汎用の自動分注装置である Bravo では、一般的な溶液の分注はもちろん、低分子化合物から生体高分子まで、様々なサンプル処理の自動化が可能である。今回は実例を含めた、Bravo によるサンプル処理のソリューションを紹介する。 バイオフィーマセミナー (14:15-15:00) ※要予約 「多次元 LC と次世代バイオ医薬品の最新分析事例」 オリゴ核酸品、ペプチド医薬品、抗体医薬品、ADC に代表される複合体、アデノ随伴ウイルス (AAV) の分析に 2D-LC をはじめとした多次元 LC (MS) を用いることが増えてきた。研究開発から工程試験、品質評価まで広がってきている。多次元 LC の適用事例をお届けし、後半では、mRNA や脂質ナノ粒子の分析についても触れる予定である。
4月22日(金)	プロセス化学/CMCセミナー (14:30-15:15) ※要予約 「モバイル & PAT ソリューションによる原材料の迅速同定からオンライン LC によるプロセスモニターのご提案」 リアルタイム分析により、プロセスの理解と最適化、医薬品開発～製造の迅速化を促進する。前半では、HPLC によるオンライン反応モニタリングについて紹介する。ケミストによるサンプリングを自動化する。後半では、ガラスバイアルから紙袋まで、幅広い容器に対応するモバイル・ハンドヘルドランを紹介する 出展社セミナー (13:30-14:00) 「元素不純物分析をスムーズに行うためのポイント～注意点や分析事例を中心に～」 出展社セミナー (14:30-15:00) 「GC-MS/MSを用いた医薬品/APIにおけるニトロソアミン類の分析」

各セミナーの時間・会場は開催事務局の情報をご確認ください。

AgilentとSNSでつながろう！



アジレント・テクノロジー株式会社

ホームページ www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ 0120-477-111 email_japan@agilent.com

DE30370256

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

